

おくび



2008

3

● 広報

NO.641



シリーズ⑩
おらほの
むら

～伝統行事「山日待」～ 小玉川地区

狩猟などの安全と恵みを願う「山日待」が、2月11日、飯豊梅花皮荘で行われました。山の神は、嫉妬深く醜い女の神といわれるため、準備や神事は男性が中心。神前には、豊かな恵みの象徴としてカラコを供えます。行事では地元の男性たちが、供え物のカラコを作るために、ていねいに米を砕き、ふるいをかけていました。



1月27日、町社会福祉協議会（須貝新二会長）が主催する囲碁大会が、老人福祉センターで行われました。これは、冬でも家に引きこもらないようにと、年配のかたを対象に、毎年企画されているものです。

当日は、囲碁の愛好家や腕自慢などが参加し、2人1組になって対戦。腕を組みながら真剣な眼差しで碁盤に向かっていました。また勝負がついた時には、談笑したり、教え合ったりしながら、仲間との親睦を深めていました。



1/27

碁盤にむかい腕を競う
新春囲碁大会

白い森発



2/2

雪山の楽しみ方を学ぶ
百石山への町民登山

小国山岳会（高橋健二会長）主催の町民登山が、2月2日、伊佐領地区の百石山（598.8m）で行われました。参加した約40人は、背丈ほどもある雪を踏みしめながら山に登りました。

山頂では、雪のテーブルやイスが作られ、山岳会メンバーが持参した炭などで、焼き肉やカモ鍋が振る舞われました。下山時には、ビーコン（雪崩埋没者救助装置）を使った訓練が実施され、参加者は、雪山を楽しんだばかりでなく、その安全な楽しみ方を学んでいました。

2/23

「呉」を使って商品開発
商工会が呉汁とお菓子の試食会

大豆をすりつぶした「呉（ご）」を使って新たな商品開発に取り組んでいる町商工会青年部（渡辺重信部長）が、2月23日、ショッピングセンターアスモで、呉を使った料理などの試食会を行いました。

試食会には、呉と豆乳を使った野菜たっぷりの鍋料理が出品されました。このほか、呉入り的大福をパイ生地で包んだお菓子が試験販売されました。会場では、味や見た目などについてのアンケートも行われ、今後、商品開発に活かされることとなります。



2/14

てわざ 伝統の手業を伝える 幸町老人クラブわらじ作り講習会

2月14日、幸町老人クラブ（高橋榮次会長）によるわらじ作り講習会が、総合センターで行われました。老人クラブの講師4人が指導にあたり、約10人の参加者は、わらじ作りや、わらじの半分程度の大きさの足半（あしなか）作りに挑戦し、さまざまな色や大きさの力作が完成していました。

幸町老人クラブでは、昔ながらの伝統を伝え、わらの肌触りに親しんでもらうため、このような講習会を定期的に行っているほか、冬期間に会員らが作った足半を、保育園に寄贈する活動などを行っています。



2/15

小学校ってどんなところ？ 年長児の1日体験入学



北部小学校で、2月15日、春から入学する予定の年長児を対象に、1日体験入学が行われました。入学予定の6人は、先輩の1・2年生から、自己紹介や楽器の演奏などのオリエンテーションをとおして、学校での生活の様子や、季節の行事などを教えてもらっていました。

この1日体験入学は、4月からの学校生活の不安を解消し、学校の楽しさを知ってもらうため、新入生を迎えるすべての小学校で行われています。

ーこの人に聞くー

雪原のスピード感に
ワクワク

東北中学校スキー大会2位（回転）
全国中学校スキー大会出場



小国中学校2年
玉垣 智裕 さん

ふだんは野球部に所属し、冬期間はスキーに専念しています。東北大会で2位になった時は、気持ちよく滑走できました。思っていたより良い成績で、少し驚きました。でも全国大会では、当日の雪質が悪くて、うまくスピードに乗ることができませんでした。大会では、滑るラインが勝負を大きく左右します。トップ選手を見ると、自分のラインと違うところがあるので、何度もビデオを見て研究しています。そのほか会場ごとに雪質が違っているので、雪温などに合わせたワックス選びも重要です。

難しい斜面にポールが立っているのを見ると、緊張して不安になる時もあります。でも、ポールを上手く通過できた時はとてもうれしくなります。そして、何より滑っている時のスピード感が、とても大好きです。来年は、もっと上を目指していけるように頑張りたいと思います。

地域づくりの 新たな胎動 ～課題の共有と実践～

いま、さまざまな分野において、住民の自主的な地域づくり活動が活発になってきています。一方で、地元大学をはじめとする多くの学生などによって、本町の歴史や文化を研究対象に、地域課題の解決に活かそうという取り組みも進められています。

今月は、こうした活動を紹介しながら、地域活力や新たな交流の創造をテーマに考えてみたいと思います。

地域の現状と 人口減少時代への対応

日本の総人口は、平成十七年にピークをむかえ、国の予測より一年早く減少に転じた。人口構成の構造的な変化は、特に、地方において、集落の活力や伝統文化の継承、農地の保全など、生活のさまざまな面に大きな影響を与え、新たな課題も生じてきている。

しかし一方で、町内を舞台に、新たに風習や民俗文化を掘り起こし、地域づくりの資

源として活用していこうとする住民主体の取り組みが、次々と生まれています。

地域づくりの一步は まず地域を知ることから

～大宮ふるさと塾～

大宮ふるさと塾（小関佳雄会長）は、地域づくりを目的として、平成十八年に組織され、大宮・宮の台地区や、その周辺の増岡、西のかたがたを中心に、育成会なども一体となって、活動しています。

設立以前から、地域行事などを中心に、地域資源の掘り起



ともに喜び ともに学ぶ 実感ともなう活動を

大宮ふるさと塾

実行委員長

小関佳雄さん(大宮)



地域をつくるには、まず、人材をつくるのが大切だと思います。大宮ふるさと塾では、これまで「灯台下暗し」の言葉どおり、地域の魅力や歴史などについて、身近すぎて見えなかったものや、意識していなかったテーマに焦点をあてて、深く掘り下げる活動を進めています。地域のかたがたに協力をいただきながら、時には先生として、時には生徒として、参加してもらっています。設立から3年目をむかえ、今は、これまで勉強してきた計画などを実践に移している時期です。年間計画や会員からの提案によって、大きな姥杉や町民の森の遊歩道、きのこなど、地域の資源に目を向けて、活力ある地域づくりに、これからも取り組んでいきます。今は、軌道に乗りつつある活動を継続していくことを第一に、無理のない取り組みを心がけ、勉強しながら楽しみを見つけています。

当初考えていたよりも、目に見えない裏方の仕事も多いですが、お年寄りにパワーを借りながら、少しずつ成果を積み重ねているところです。また、地域のかたがたが協力し合う姿こそ最も大きな成果であり、その気持ちが絆や人材を育てていくものだと思います。

こし活動はしていましたが、次第に、広く参加者を募り講座を開催するなど、発展的な取り組みを行うようになってきたものです。本年度は、それぞれ内容や対象者を変え、工夫しながら、地域資源をテーマとした講座などを三回ほど開催しています。

昨年十一月には、「町民の森体験と森の学習会」として、実際に山を歩きながら、姥杉などを見学したり、多くの子どもたちも参加して、きのこの収穫体験や、菌打ち体験を企画。地域住民が育てた原木なめこを提供するなど、地域と塾の参加者が一体となって活動しています。また一月二十六日には、「地域の助け合いの歴史」に焦点をあて、珍しい風習として最近まで残っていた産屋の歴史をふり返る講座を開催しました。出産経験

のある地元のかたがたを講師に迎えて、安産・子育てについて住民の信仰が深い「大宮神社」との精神的なつながりや、地域内での助け合いの仕組みについて学び、当時の家庭事情や、歴史背景について理解を深めました。

このほか、「そば」をテーマに地域おこしに取り組みようと、今年度は、そばの生産にも挑戦し、そば打ち講習会も行われている。

伝統食材で、農業の未来と 健康な暮らしを守る

～おぐに五穀の会～

おぐに五穀の会(渡部茂雄代表)は、雑穀とよばれる昔ながらの食材をテーマに地域おこしに取り組む団体で、生産や加工、販売などの各分野からの人材が集まり、組織されています。雑穀とは、一般的に米と麦以外の穀類(ヒエ、アワ、キビなど)を指しています。おぐに五穀の会では、これらを地域の食卓と結びつけながら、健康な暮らしづくりのための活動を行っています。雑穀は、米に比べて食物



雑穀は、稲作のように機械化されていないため作業の多くが手作業

繊維や鉄分、マグネシウムなどを多く含むため、今、「自然のサプリメント」として注目されてきています。特に、今話題となっているメタボリックシンドロームに代表されるような健康づくりや、食の安全・安心など、住民の関心の高まりとともに、その需要が高まってきています。雑穀は、土地を選ばず、かんがい用水などの手間がかからないことから、生産規模も徐々に拡大してきています。乾燥・脱穀したものを袋詰めするだけでなく、粉末にしたり、さら



おぐに五穀の会では、各種料理教室などでも積極的に講師を務めている

縄文から続く雑穀で食文化を見つめ直す

おぐに五穀の会
代表 渡部茂雄さん
(岩井沢)



おぐに五穀の会は、平成16年に行われた雑穀フォーラムをきっかけに、当時集まったメンバーが中心になって結成されたものです。さまざまな分野から、雑穀の普及拡大に賛同するかたが集まり、役割分担をして個々ができることをしてもらっています。雑穀によって、地域の農地を守りながら、町を売り込み多くのかたに知ってもらうことで、町おこしになればと思い活動しています。

生産過程の多くが手作業なので、特に稲作と重なる時期には、関心のあるかたなどに手伝ってもらい作業を行っています。「人手が必要」というデメリットを、「新たな交流・生きがいづくりの場」というメリットととらえることで、地域の活性化にもつながっています。大量生産・大量消費という形ではなく、少量であっても継続しながら、そして農作物へのこだわりを持ちながら、雑穀に対する理解を広め、新たな食文化の土台づくりを進めていきたいです。

食べればすぐに健康になるというものではありませんが、収穫された雑穀が食卓にのぼり、みなさんが、現代の食文化を見つめ直すきっかけになってほしいと願っています。

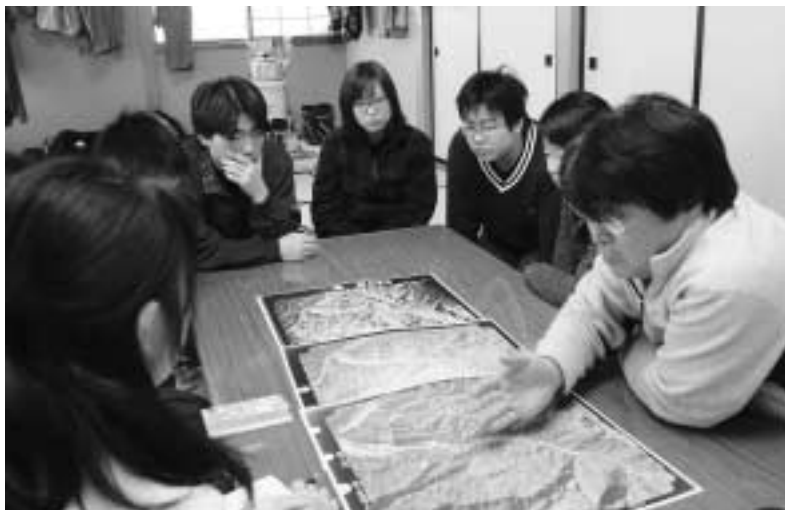
に食べやすさを追求して、粉の挽きかたを工夫するなど、付加価値づくりに取り組んでいます。

昨年十一月に行われた鍋まつりでは、モチアワとタカキビを使った鍋を出品し、鍋將軍の称号を獲得しています。

会では、地域の食文化として定着させるため、町内の団体や企業などと連携しながら、新たなメニューの開発も進めています。

歴史から地域課題を考える ― 大学生による地域研究 ―

小国町は、かつて典型的な山村集落でしたが、近代化の波を受けながら、製造業をはじめとする中核企業の立地などにより、次第に農工一体の就業構造に変化してきました。また、町村合併や、度重なる自然災害からの復興、立地特性を活かした地域づくりの展



「航空写真には人の暮らしの変化が如実に現われている」と語る田口教授。フィールドワークに先立ち、学生らとともに年代別の航空写真を見比べて、時代ごとの生活の変化を分析



昨年は小玉川伝統行事「かっぎり祭り」にも参加し、情報交換



ウサギ狩りを終えた学生たちは、下処理の様子なども記録していた

開など、独自の生活文化を築きあげています。本町におけるこうした歴史や住民生活の変化、そして現在抱えている地域課題を、さまざまな角度から調査し、新たな地域づくりに結びつけていくための研究が、多くの地元大学生らによって進められています。

特に、東北芸術工科大学歴史遺産学科の田口洋美教授とその研究班は、「生業」や「伝

統」などに着目して、集落の歴史を掘り起こしながら、これまでの変遷を分析する活動を、町内各地で行っています。二月五日には、田口教授と十五人の学生が、徳網活性化施設に約一週間泊まり込み、北部地区の住民への聞き取り調査や、地元マタギとともに雪山でのウサギ狩りを体験しました。最近では、学生を中心として、町内の「炭焼き」を

テーマとした映画撮影に取り組むなど、本町の特色ある素材を取り上げた研究が行われています。

来年度は、これまでの地域調査に加え、森林セラピーを柱とした体験プログラムの研究や、南部地区を舞台とした地域振興の方策について、町や地元住民と連携を図りながら研究を進めていくこととしています。田口教授は、

「暮らしに身近な伝統や文化、土地利用の変化は、その時々々の経済の影響を色濃く受けてきています。これらの歴史は、地域のかたの記憶のなかで漠然と眠っています。それらを引き出し、生活文化が変化してきた原因を明らかにしていくことが、私たちの使命であり、地域課題の解決にもつながると考えています」と話していました。

このほか、県内の大学や短期大学など十一の教育機関で構成する「大学コンソーシアムやまがた」では、本年度、本町を会場に、地域づくりセミナーを行っています。この

取り組みでは、大学などの知的資源を地域の発展に活かす調査が進められ、三月にも、三回目となるセミナーが開催されることとなっています。

気付き、学び

地域づくりの新たな時代へ

今回紹介したほかにも、農業や商業、観光面でも地域資源を活かした住民主体の地域づくりが展開されています。地域振興を図るためのさまざまな視点からの研究も活発に行われています。これらの取り組みは、ひびを突き合わせて夢を語る段階から、その実現に向けて、具体的な活動や体験をおして、広いつながりが生まれてきています。

町では、かつてのムラづくりの姿を素地に、これまでの伝統や文化を継承し、新たな時代にふさわしい地域づくりが進められるよう、地域活力や交流の創造にむけて、今後、生涯学習や産業振興などテーマに応じた主体的な取り組みを支援してまいります。



2月18日、叙勲はご遺族に手渡されました

故 今 秀男さん(舟渡)に瑞宝双光章

故今秀男さん(平成十九年十一月二十八日死去)は、昭和三十三年に玉川小学校教諭になられた後、町内の各小学校・中学校などで教壇に立たれ、昭和五十八年には叶水中学校教頭、平成三年からは白沼小中学校校長を務められました。

また退職後は、社会教育指導員として、社会教育の推進に努められ、平成八年には教育相談員として、教育行政の発展に尽力されました。

阿部院長に医療功労賞

困難な環境の下で医療に従事する人をたたえる「第三十六回医療功労賞」(読売新聞社主催)に、町立病院の阿部吉弘院長が選ばれ、二月一日、役場で表彰が行われました。

阿部氏は、地域に根ざした医療を実現するため、平成四年度から、訪問看護・診療を継続されてきています。また、「癒しの園」では、保健・医療・福祉・介護の包括ケアサービス実践の中心的役割を果たされています。

井上紀夫読売新聞山形支局長から表彰状を受け取る阿部院長



地域を学んだ成果を披露

白い森学習ポスター展

一月二十四日から二月五日まで、ショッピングセンターアスモで、小中学生や高校生が取り組んできた、白い森学習の内容を紹介するポスター展が開催されました。

小中高一貫教育の取り組みとして進められている白い森学習は、総合的な学習の時間などを利用して行われる「地域学習」です。期間中は、多くのかたが、それぞれの学習の成果に見入っていました。



子どもや孫の学習成果に多くのかたが足を止めていました

昔ながらの雪遊び

子ども体験教室

白い森子ども体験教室「おぐにの冬遊び」が、一月二十六日、町民広場周辺で開催されました。当日は十四人の小学生が、昔から親しまれてきた冬の遊びをテーマに、ドフラと呼ばれる落とし穴づくりや、クルミ殻のロウソクづくりなどを行いました。また総合センター前では、雪雛づくりが行われ、子どもたちは、完成した雪雛をナンテンなどで飾り付けました。



小国っ子は、雪の中でも元気いっぱい

～ 第8回 全国中学生創造ものづくり教育フェア ～

叶水中の新井君・篠塚君 木工技術で全国入賞

一月二十六日～二十七日にかけて、茨城県つくば市で開催された第八回全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。

ものづくりの技術を競うこの大会で、叶水中学校（菅美登校長）二年の新井優太君は、授業で製作した作品の完成度



新井優太君と「柿の木の椅子」（右）
篠塚羊君と「マルチラック」（左）

を競う生徒作品コンクールに、「柿の木の椅子」を出品し、上位三賞の一つである林野長官賞を獲得しました。

新井君は、「木工やプラモデルなど、もともと、ものを作るのが大好き。柿はもろいので、加工には少し苦労しました」と話していました。

また、三年の篠塚羊君は、木工製作コンテスト「めざせ木工の技チャンピオン」に、東北ブロック代表として

出場し、優秀賞を受賞しました。コンテストは、四時間という限られた時間内に、木工作品を作らなければならぬもので、篠塚君は、マルチラックの製作に挑戦しました。

篠塚君は、「校長先生から、クギを使わずに組み立てる方法を教えてもらい、作品づくりに挑戦しました。寸法が合わない部分があつて、時間が足りず上位入賞はできなかったけど、全国レベルを体感できて、楽しかった」と話してくれました。



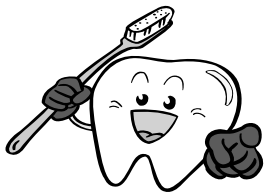
「よい歯のコンクール」 きれいな歯の三歳児を表彰

平成十九年度小国町よい歯のコンクールが行われ、審査の結果、町内の三歳児の中から、次の六人が選ばれました。受賞者には、それぞれに表彰状と記念品が贈られました。

よい歯のコンクールは、健康で丈夫な体づくりの基本である歯を大切にしようと、健診時の問診や、歯科診察の結果、虫歯がなく、きれいな歯を保っている町内の三歳児を表彰するものです。

【受賞者】

栗田音波さん
櫻井優斗くん
横山康生くん
成松 翼くん
佐藤颯斗くん
片桐陽向くん



町長室から

小国町長 小野精一

過日、新年度予算の編成作業を終えその概要を町議会に説明させていただきました。

行財政改革を進めながら、効果的な施策の構築と経営的視点に立った予算の配分に努めた結果、平成二十年度の町会計予算案の総額は、九十五億九千百十六万円となり、前年度に比べて一〇%の減となりました。このうち一般会計は、五十一億九千万円となり、前年対比四・三%減の緊縮型予算となりました。

詳しくは、三月定例議会に上程し、審査決定をいただきたい後にお知らせいたします。

さて町では、今冬の異常降雪に対処するため、去る二月二十六日に臨時議会を開催しました。県内では、雪による事故が多発しておりますので、除排雪作業には、十分注意してください。

小国町臨時議会

二月二十六日、小国町臨時議会が開かれ、一般会計補正予算について審議されたほか、一部事務組合の規約変更などに係る専決処分について報告が行われました。また、西置賜行政組合議会議員の補欠選挙が行われ、高野健人議員、伊藤重広議員が選任されました。

除雪経費を追加

町では、二月一日に「雪対

策連絡会議」を設置し、雪害などの情報収集を行いながら、住民の安全確保に努めています。今回の補正では、今冬の降雪状況を踏まえ、道路や児童福祉施設などの公共施設において、除排雪経費の不足が見込まれることから、必要経費を追加したものです。

除排雪経費の補正額は八千百六十万円となり、補正後の一般会計予算総額は、五十七億七千八百九十万円となりました。

美しい飯豊連峰を

未来へ

二月二十三日、飯豊連峰保全シンポジウムが、総合センターで開催されました。シンポジウムは、本町のほか、新潟・福島両県の関係団体、環境省などで構成された飯豊連峰保全連絡会が主催したものです。参加した約百二十人は、講演やパネルディスカッションをとおして、自然を守るために必要な登山道や植生への対策について学びました。



講演に先立ち、官民が連携して進める保全計画について説明が行われた

地域への感謝を込めてボランティア



手際よく作業を進める生徒たち

お年寄りの自宅を除雪

白沼中学校

二月二十一日、白沼中学校の生徒によるボランティア除雪が行われました。十三人の中学生全員が二つのグループに分かれ、除雪に困っている高齢者宅の軒下や玄関で作業を行いました。これは、学校が地域と一体となって進めているボランティア活動「しろがね会」の取り組みの一環として行われたものです。

基幹集落センターで図書整理

叶水小中学校

二月十五日、叶水小中学校の全児童・生徒が、叶水基幹集落センターに保管されている図書の整理を行いました。図書室では、九人の小中学生が、地域のかたから寄贈された本を、作家や大きさごとにそろえていました。このほか学校内でも、ふだんは手が行き届かない場所の雑巾がけなどを行いました。



むずかしい漢字も、子どもたち同士で教え合いながら整理



勢子となった参加者は、雪をかきわけ木立を進む

二月十日～十一日、国民宿舎飯豊梅花皮荘を主会場として、小玉川マタギ衆が主催する「体験！冬のマタギ生活」が行われました。県内外から参加した十七人は、一泊二日の日程で、地元のマタギとともに、昔から続く小玉川地区の冬の生活を体験しました。

初日は、カンジキを履いて、マタギと一緒にウサギ狩りを

地元マタギ衆と交流を深める

「冬のマタギ生活体験」

米粉づくりから行ったカラコづくり



行いました。勢子となった参加者は、大きなかけ声とともに、雪を踏みしめ雪山に登り、夜は、協力して獲ったウサギ汁を味わっていました。

翌日には、山の神に祈りをささげる地域の伝統行事「山日待」に参加し、祭壇に供えるカラコづくりにも挑戦しました。



味噌づくりだけでなく、糰づくりも体験

味噌づくり体験
食農体験学習講座「味噌づくり体験」が、二月十三日と十五日、町農産物加工施設（大宮）で行われました。参加した二十人は、町農業振興公社の指導を受けながら、糰菌のすり込みと、豆と糰の仕込み作業を体験しました。今では自家製味噌を作る家庭が少ないため、参加者のほとんどが初めての体験となりました。

今回仕込んだ味噌は、それぞれの家庭で寝かせ、十月頃に完成する予定です。

男性の料理教室

町の食生活改善推進員連絡協議会が主催する男性を対象とした料理教室が、二月十八日、健康管理センターで開催されました。参加した七人は、食や料理への関心が高く、それぞれ役割分担して、レシピを確認しながら包丁をにぎっていました。

豚肉を使った料理や野菜スープなどメニューが次々に完成し、会場は、しょうがやコンソメの香りに包まれました。



12

お知らせ

■**問合先** 宮内庁式部職あてに、
切手を貼った返信用封筒を添えて、
9月20日(土)までに、郵送で
問い合せてください。

■**参加費** 無料

■**問合先** 置賜保健所 (☎023
8-22-3001) へ

ご案内

異動の時期です
各種手続きを忘れずに

住民異動届けの際には、次の手
当の認定請求、資格喪失手続き、
住所変更手続きなどを忘れずに
行ってください。

【児童手当】

転出の際、後日未払い分の手当
て支給がある場合には、後日送付
される児童手当支給事由消滅通知
書により、支給の確認をしてから
振込指定口座の解約手続きをして
ください。

また、引き続き児童手当を受け
るには、転入先の市区町村で、新
たに申請する必要があります。異
動日より15日以内に手続きをしな
いと、手当を受けられない月があ
りますので、転入届けと同時に申
請してください。なお、その際19
年1月1日現在の住所地での「18

年分児童手当所得証明書」が必
要です。小国町で転出届をする際
に請求取得してください。

受給者が、単身赴任等で国内に
転出した場合、児童が小国町に住
所を有していても、受給者の転出
先で新たに申請し、受給すること
となります。受給者が、単身赴任
等で海外に転出した場合には、小
国町で児童を養育しているかたが
受給することになりますので、「認
定請求書」の提出が必要となりま
す。

【児童扶養手当及び 特別児童扶養手当】

転出の際、小国町で住所変更届
けの提出が必要です。引き続き、
手当を受けるには、転入先で住
所変更届けが必要です。

【小国町母子家庭等修学費】

転出の際、母子家庭等修学費受
給資格消滅届の提出が必要です。

■**問合先** 健康福祉課へ

平成20年度くりえいと工房 再生品をお譲りします

千代田クリーンセンターくりえ
いと工房では、循環型社会を実現
するため、粗大ゴミとして搬入さ
れた家具や自転車修理再生し、
必要なかに、抽選のうえ無料提

供しています。

■**対象者** 置賜在住のかた

■**料金** 無料

■**展示場所** 千代田クリーンセン
ター(高島町)

■**展示スケジュールと抽選日**

	展示期間	公開抽選日
第1回	4月3日(木)～ 5月10日(土)	5月13日(火)
第2回	6月3日(火)～ 7月5日(土)	7月8日(火)
第3回	8月1日(金)～ 9月6日(土)	9月9日(火)
第4回	10月15日(水)～ 12月6日(土)	12月9日(火)

相談

年金相談

■**日時** 3月19日(水)
■**受付** 9:30～14:30
■**相談** 10:30～
■**場所** 役場町民相談室
■**対応者** 社会保険事務所職員
■**問合先** 町民課へ

人権相談

■**日時** 3月21日(金)
■**受付** 10:00～12:00
■**場所** 総合センター
■**対応者** 人権擁護委員
■**問合先** 町民課へ

無料メンタル・健康相談

■**日時** 4月10日(木)
■**受付** 13:30～15:00
■**場所** 置賜地域産業保健セ
ンター(米沢市)
■**問合先** 米沢市医師会
(☎0238-23-5515) へ

催し

直江兼続公開講演会

■**日時** 3月22日(土)
午後2時30分～4時
■**場所** 伝国の杜(米沢市)
■**講演内容** 直江兼続の文教政策
にみる国づくり(講師・米沢直
江會会長 小山田信一氏)
■**対象者** どなたでも参加できま
すので、当日、直接会場にお越
しください。

※展示については、日曜・祝日を
除く午前9時から午後4時まで
とします。

■問合先

千代田クリーンセンター(☎0
238-57-4004) へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- | | |
|------------------|-------|
| ◇楊令伝 1～3 | 北方 謙三 |
| ◇私の男 | 桜庭 一樹 |
| ◇警官の血 | 佐々木 譲 |
| ◇森の愉しみ | 柿崎ヤス子 |
| ◇汚れおとし大事典 | 佐光 紀子 |
| ◇早わかり急変ノート | 尾野 敏明 |
| ◇大工が教えるほんとうの家づくり | 阿保 昭則 |
| ◇キミのためにできること | 宮本 延春 |
| ◇ゆび編み | |
| ◇江原啓之本音発言 | 江原 啓之 |
| ※ほか多数入荷しました。 | |

今月の休館日：3月20日(祝日)、毎週月曜日

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程

3月4日、11日、18日子育て講座「お別れ会」、25日

■時間

午前10時～11時30分

■場所

健康管理センター

■対象者

0歳から入園前のお子さんとお家のかた

さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

3月6日 総合センター

3月13日 おぐに保育園
 時間 午前10時～11時30分
 対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時

3月8日(土)

■場所

午前9時30分～12時

■内容

親子体操、記念工作

■申込期限

3月6日(木)

■対象者

おおむね2歳からのお子さんとお家のかた

■問合先

子育て支援センターへ

求人情報

左の表は2月15日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

2009 ハローワーク やまがた学生就職ガイダンス

- 日時 4月25日(金)
13:00～16:30
- 場所 山形ビッグウイング(山形市)
- 内容 複数企業との面談、就職相談コーナーなど
- 対象者 大学、短大、高専、専修学校などの平成21年3月卒業予定者
- 問合先 山形県若者就職支援センター(☎023-647-0363)へ

事業所名	職種	求人数	年齢	就業時間
医療法人社団緑愛会	看護師・准看護師	3人	59歳以下	8:30～17:30ほか
介護老人保健施設かやきの丘	グループホーム介護員	2人	不問	7:00～16:00ほか
遠藤建設(株)	調理師	1人	不問	9:00～15:45
ひさご電材(株)小国工場	土木施工管理技士	1人	不問	8:00～17:00
猪野電気工事(株)	電気部品製造	2人	不問	8:30～17:30
合資会社山佐佐藤農機店	内・外線工事作業員	2人	35歳以下	8:00～17:00
(有)蔵王ストア	営業・販売・整備工	2人	不問	8:30～17:30
	食堂係	1人	不問	8:45～18:00
	レジ係	1人	不問	8:45～18:00
小国町森林組合	スタント給油・配達業務	1人	不問	7:30～17:00ほか
	運転業務	1人	不問	7:30～17:00
(株)ケープロダクツ	パソコン業務	1人	不問	9:00～18:00
	自動車販売・整備	1人	不問	9:00～18:00
DoCoDeMoグループ(有)	警備業務(正社員)	5人	18歳以上	8:00～17:00
	警備業務(準社員)	5人	18歳以上	8:00～17:00
(株)井上製作所	マシンオペレーター	6人	不問	8:30～16:45ほか
(株)船山工務店	土木施工管理技士	2人	不問	8:00～17:00
(株)コメリ新潟地区本部	販売員	20人	35歳以下	9:00～18:00ほか
味処藤よし	調理師及び見習い	1人	不問	8:30～22:00
	ホール、接客	1人	不問	17:00～22:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	特別営業職	10人	不問	9:15～17:00
	ルート営業	10人	不問	9:15～17:00
	特別営業職	10人	不問	9:15～17:00
(株)ジェイエサービスおきたま	配送及び給油所業務	5人	不問	8:00～16:45ほか
	一般事務員	1人	不問	8:00～17:00
大河内産業(有)	ダンブ・重機運転士	3人	不問	8:30～17:00
	砂利プラント運転士	3人	不問	8:00～17:00
	型枠大工	1人	不問	8:00～17:00
安部工業(株)	重機オペレーター	1人	不問	8:00～17:00
	一般作業員	1人	不問	8:00～17:00
ハイコー(株)	電気工事	2人	不問	8:00～17:00
電興(株)	薬剤師	1人	不問	8:50～17:30
(有)小国測量設計事務所	測量助手	2人	不問	8:00～17:00
第一生命保険相互会社坂町支部	生命保険コンサルタント	5人	不問	9:00～17:00
(株)ジャパングリエスタッフ山形営業所	半導体製造装置製造	5人	不問	8:30～16:40ほか
(株)アイコンワールド新潟営業所	石英ガラスの洗浄作業	2人	不問	8:30～16:40ほか
(株)シーテック山形営業所	社内システムの設計・開発	1人	不問	9:00～18:00
(有)新設・河原角農畜産物加工施設	農産物加工	1人	不問	8:00～17:00
酒味庵まつばら	接客	1人	不問	17:00～21:00ほか
(有)コンビニエンスストアオレンジ	コンビニ・カラオケ店員	3人	不問	9:00～13:00ほか



保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
4/18	3 歳児健康診査	12:30~13:00	16年 8 月~10月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康 手帳、問診票（3 歳 児健康診査のみ）
4/25	4 カ月児健康診査	13:00~13:15	19年12月まれ	
	1 歳児健康診査		19年 4 月生まれ	

国民年金についてのお知らせ

● 国民年金は口座振替で前納がお得です ●

平成20年度から、保険料は月額 14,410円になります。
 年間の保険料を一括で前納すると、
 現金払いの場合は、年間 3,070円お得です
 口座振替の場合は、年間 3,620円お得です
 口座振替で 4 月から前納するためには、3 月 7 日(金)までに、
 米沢社会保険事務所に申し込みが必要です。早めに手続き
 をしてください。

なお、すでに口座振替で前納されているかたについては、届出の必要はありません。



● 3月は、相談窓口を延長しています ●

「ねんきん特別便」などに対する相談業務や手続きに対応するため、県内全ての社会
 保険事務所で、年金相談窓口の休日開庁と平日夜間の相談時間延長を行っています。
 仕事などで、日中相談できないかたは、ぜひご利用ください。

■休日開庁日時

3 月 8 日(土) 9:30~16:00

3 月 9 日(日) 9:30~16:00

■相談時間の延長

平日 8:30~19:00

■相談の際に必要な書類

- ・ 郵送されている「ねんきん特別便」
- ・ 年金受給者のかたは年金証書、被保険者のかたは年金手帳
 (年金証書及び年金手帳を持参できない場合は、免許証や保険証
 など身分を証明できるものを持参してください)
- ・ 印鑑
- ・ 代理人のかたが相談される場合は、委任状が必要です
- ・ 加入記録に訂正がある場合には、可能な限り年金加入記録照会票に、必要事項
 を記入のうえ持参してください



● クレジットカードでも支払うことができるようになりました ●

2 月より、クレジットカードでの支払申し込みを受け付けています。クレジットカード
 払いは、事前に専用の申込用紙を提出していただくことで、カード会社が保険料を
 支払うものです。保険料は、後日、カード会社からカード所有者に請求されます。な
 お、過去の未払い分については、利用することができません。

※詳しいことは、町民課または米沢社会保険事務所（☎0238-22-4220）へ

みんなの環

サークルやスポーツ団体など、グループで活動しているかたがたを紹介していきます。今月は「サザンクロス」。



2月23日には、バリ舞踊ワークショップを開催

サザンクロス(横山隆藏代表)は、2004年、南部に住む者と、南部に縁のある者約10人で結成したグループです。

私たちの主な活動は、国民文化祭から親交のあるインドネシア・バリ島の音楽「ガムラン」のワークショップ(年3回)や、先月23日に行われた「バリ舞踊」の講習会などの企画・開催です。南部はナンだかけっこう広くて、このグループを通して知り合えた仲間もいます。

これまでの活動を続けながら、そして、これからは閉校をひかえた小玉川小学校の活用を考えながら、自分たちの活動が町内や町外の人に伝わって、たくさんの人が「南」に来てくれる…そんな活動をしたいと考えています。みなさん、ウェルカムです。どうぞどうぞ、遠慮はいりません。お待ちしております！

編集後記

特集の取材を進めるうち、以前、あるかたが言っていた「交流とは、来てもらうだけでなく、自ら出向く姿勢も重要」という言葉を思い出しました。物事の見方を変え、新たな発想が必要な時には、固定観念にとらわれないかたがたとの、幅広い関係づくりから、別の解決策が見つかるのかもしれない。さて、自身をふり返ってみると、行き詰まっている時ほど、「しってほしい」という気持ちが出てしまいがち。自分が手を借りた時ほど、相手に手をさしのべる姿勢を忘れたくないものです。(片桐)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

兵庫	館	安	部	愛	叶	(幸弘)	裕子
岩井	沢	須	藤	紗	綾	(学俊)	香子
岩井	沢	高	橋	歩	未	(謙作)	和子
岩井	沢	山	崎	心	愛	(稔子)	綾子
兵庫	館	新	野	美	優音	(智光)	春香

結婚おめでとうございます。

(緑南)	町市	佐藤	欣美	彦奈
(兵庫)	館岡	安部	和幸	幸苗
(増北)		武井	裕也	尋
		佐々木	千	

おくやみ申し上げます。

貝緑	少町	佐藤	四郎	(76)
東足	安部	清子	(71)	
緑野	伊藤	長松	(83)	
小国	中津川	一郎	(89)	
沼沢	小池	左エ門	(82)	
東若	須貝	ちよ	(83)	
	井上	金子	(68)	
	鈴木	優	(84)	
	今守	(69)		

人口のうごき

人口	男	… 4,620人 (-5)
	女	… 4,861人 (+1)
	計	… 9,481人 (-4)
世帯数		3,265世帯 (+4)
		平成20年1月31日